

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

日本海水学会誌  
第51巻～第60巻 (通巻287号～346号) 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

目 次		
1. 巻頭言	6. 3 分析および物性	10. 資料
2. 総合論文	(1) 海水主成分	11. まえがき
3. 進歩総説	(2) 海水微量成分	12. 特集
4. 講座	(3) 物性	13. 小特集
5. 総合論文	(4) その他	14. 解説
6. 一般報文	6. 4 海水・塩と環境	15. トピックス
6. 1 海水・かん水の濃縮および脱塩	(1) 耐塩性植物	16. 塩シリーズ
(1) イオン交換膜法	(2) 塩害と対策	17. ミニ・レビュー
(2) 蒸発法	(3) 海水環境	
(3) 逆浸透法	(4) 地球化学	
(4) その他	(5) 材料(腐食)	
6. 2 海水の資源	6. 5 食塩の利用・作用	
(1) 製塩	(1) 食品	
(2) 海水主成分	(2) その他	
(3) 海水微量成分	7. ノート	
(4) 生物	8. Short Paper	
(5) エネルギー	9. 技術報告	

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
1. 巻 頭 言					
技術の流れ	後藤 藤太郎	51	1	1	1997
水と夢と	妹尾 学	51	2	71	1997
海, 甦れ	益子 公男	51	3	111	1997
海を介した学術・技術交流	山内 昭	51	4	165	1997
海をもっとよく知ろう	片岡 健	51	5	281	1997
学会誌の充実に向けて	吉田 章一郎	51	6	347	1997
雑感 一塩専売制度廃止をめぐってー	枝吉 清種	52	1	1	1998
国際化について	中尾 真一	52	2	49	1998
今こそ“海”を生かすための総合科学を	角田 出	52	3	123	1998
赤潮研究	青山 勲	52	4	194	1998
学会の発展と産側会員に期待する活動	豊倉 賢	52	5	259	1998
21世紀へ向けての日本海水学会誌の編集	柘植 英樹	52	6	335	1998
環境・生態系・生物資源分野の研究を進めよう	松永 勝彦	53	1	1	1999
第50年会の開催にあたって	加藤 俊作	53	2	69	1999
産業側会員の増加について	岸 正弘	53	3	131	1999
底質を考える	立川 涼	53	4	223	1999
相互交流を深めつつ	島田 淳子	53	5	319	1999
海水学会についての雑感	宮武 修	53	6	407	1999
海水学会	杉 二郎	54	1	1	2000
魅力ある海水学会への発展を祈念して	鈴木 喬	54	2	83	2000
学会50年の記録	武本 長昭	54	3	167	2000
21世紀新しい資源：海洋深層水	高橋 正征	54	4	287	2000
日本海水学会を考える	大野 正之	54	5	347	2000
日本海水学会創立50周年記念事業とこれからの発展	豊倉 賢	54	6	409	2000
21世紀に学会は何を残すか	橋本 壽夫	55	1	1	2001
21世紀最初の海水学会	山内 昭	55	2	67	2001
サウジアラビア王国にて想う	大矢 晴彦	55	3	117	2001
特集に当たって	青山 勲	55	4	210	2001
21世紀, 学会の発展を期待して	関野 政昭	55	5	267	2001
ブレークスルー無き構造改革	野崎 泰彦	55	6	359	2001

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
バランスの取れた会誌	津田 健	56	1	1	2002
学会の課題	中尾 真一	56	2	95	2002
技術革新の「意志」と「場」	片岡 悟	56	3	203	2002
特集にあたって	廣津 孝弘	56	4	284	2002
不凍タンパク質	久保田 徳昭	56	5	339	2002
「水の時代」の海水学会	谷岡 明彦	56	6	423	2002
塩味雑感	島田 淳子	57	1	1	2003
権利に保護された技術の開発と情報公開 -公開できない技術は技術ではない	竹本 幹男	57	2	75	2003
海は水の宝庫 -淡水化技術は21世紀の水不足を救う-	原 道宏	57	3	147	2003
「海水科学研究における最先端」 特集にあたって	青山 勲	57	4	251	2003
川上から川下へ	大矢 晴彦	57	5	343	2003
日本海水学会と日本学術会議	橋本 康	57	6	411	2003
海水中の微量成分は時代とともに減っている?	山根 兵	58	1	1	2004
頼りになる学会	津田 健	58	2	139	2004
海水学会誌はさらに変わりたいと考えております	谷岡 明彦	58	3	241	2004
研究開発のアウトカム	大井 健太	58	4	335	2004
2010年の学会運営と活性化に関する提言	尾上 薫	58	5	445	2004
マイナーの視点から	新藤 斎	58	6	545	2004
学会活性化に向けた方策, 連携と融合	佐藤 利夫	59	1	1	2005
水・電解質と健康をめぐる落とし穴	今井 正	59	2	95	2005
海水の総合利用を目指して 学会が橋渡し役を	西機 忠昭	59	3	169	2005
駿河湾深層水の利用	須藤 雅夫	59	4	229	2005
海水から学んだこと	齋藤 恭一	59	5	313	2005
未利用なマリンバイオマスの再検討をめざして	山岡 到保	59	6	383	2005
日本海水学会の更なる発展をめざして	中尾 真一	60	1	1	2006
自然そして科学の深遠さ	井川 学	60	2	83	2006
“海”の“多様な魅力”の発掘と発信を!	角田 出	60	3	145	2006
海水学会にどう貢献するか	平沢 泉	60	4	222	2006
日本海水学会に期待すること	長谷川 正巳	60	5	321	2006
海水有効利用の今後の展望	山内 昭	60	6	393	2006

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
<b>2. 総 説</b>					
結晶表面	新藤 斎	51	1	12	1997
海水ウラン捕集技術の開発の現状	須郷 高信	51	1	20	1997
電気透析法によるかん水脱塩のプラントとその設計	東 勇	51	4	171	1997
イオン交換膜の選択性を利用した応用	吉江 清敬	51	4	180	1997
電気透析によるアミノ酸の分離精製	川喜田 哲哉	51	4	188	1997
電気透析槽の槽内電流分布	浜野 利勝	51	4	200	1997
水酸化マグネシウムの反応晶析	柘植 秀樹	51	6	348	1997
水溶液環境下における樹脂およびFRPの腐食	津田 健, 久保内 昌敏	52	1	14	1998
鋳型樹脂による金属イオンの認識	村田 正治, 前田 瑞夫	52	2	74	1998
最近の逆浸透膜の動向	広瀬 雅彦	52	2	86	1998
懸濁型連続晶析装置のモデル化の動向	滝山 博志	52	3	138	1998
赤潮生物の生理生態	吉松 定昭	52	4	195	1998
魚類養殖場の環境管理	門谷 茂	52	4	202	1998
魚介類の斃死を伴う赤潮の発生予察	本城 凡夫	52	4	211	1998
赤潮の生物的防除の可能性	今井 一郎	52	4	216	1998
海洋を取り巻く物質循環と炭酸カルシウムの晶析現象	尾上 薫	52	5	286	1998
炭酸カルシウムの反応晶析	鶴飼 健司, 豊倉 賢	52	5	292	1998
調味料製造における脱塩技術	川喜田 哲哉	52	6	336	1998
海洋温度差発電とスプレーフラッシュ蒸発式海水淡水化の開発と展望	上原 春男, 中岡 勉	53	1	2	1999
高濃度塩濃縮における膜の問題点	谷岡 明彦	53	1	12	1999
炭酸カルシウム結晶多形の析出挙動に及ぼす添加物効果	北村 光孝	53	3	162	1999
トリブチルスズ (TBT) の魚類血液への蓄積とTBT-PCB複合汚染による産卵・ふ化への影響	大嶋 雄治, K. NIRMALA, 横田 佳子, 島崎 洋平, 井上 英, 仲山 慶, 今田 信良, 本城 凡夫, 小林 邦男	53	4	224	1999
瀬戸内海の水質・底質の現状と環境管理	松田 治	53	4	229	1999
瀬戸内海の低次生産過程 —プランクトンから漁業生産へ—	上 真一	53	4	241	1999
海水中の金属イオンを高選択的かつ高濃度に濃縮するホヤの生理機能とその応用の可能性	道端 齊, 宇山 太郎, 植木 龍也, 金森 寛	53	4	248	1999
海洋性微細藻類によるヒ素蓄積	山岡 到保	53	4	258	1999

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
膜内荷電形態と輸送特性 -モザイク荷電膜について-	山内 昭	53	5	320	1999
海中の人工放射性核種	本多 照幸	53	5	328	1999
水産加工品製造における食塩の役割	土屋 隆英	53	5	341	1999
森林起源物質が海の光合成物質に果たす役割	松永 勝彦	54	1	3	2000
防汚塗料の最近の動向	米原 洋一	54	1	7	2000
日本における製紙塗工用軽質炭酸カルシウムの現状と将来	田中 宏一, 西口 浩之	54	2	85	2000
海中の天然放射性核種	本多 照幸	54	2	91	2000
海洋生物活性物質の研究開発の現状と将来	伏谷 伸宏	54	3	168	2000
海洋深層水の利用研究と今後の展望	筒井 浩之, 豊田 孝義	54	4	289	2000
微細藻類の大量培養からみた深層水の特性	丸山 功	54	4	294	2000
海洋深層水のエネルギー利用	森野 仁夫	54	4	300	2000
海洋深層水と地域振興	山崎 義文	54	4	307	2000
海底堆積物の放射性核種	本多 照幸	54	5	348	2000
製塩プラントにおける局部腐食モニタリング	丹野 康雄, 浅野 一朗	54	5	360	2000
ホウ素同位体地球化学(学術賞記念論文)	大井 隆夫	55	1	3	2001
海洋生物中の放射性核種	本多 照幸	55	1	11	2001
製塩装置のオーステナイト系ステンレス鋼の塩化物応力腐食割れ -残留応力制御による防止対策-	竹本 幹男	55	2	69	2001
海洋環境化におけるコンクリートの長期挙動 -既往の知見-	濱田 秀則, 阿部 正美, U. M. TAREK, 山路 徹, 渡邊 弘子	55	2	77	2001
バイオクリスタリゼーションに学ぶ -海洋資源の固定化技術としての晶析工学-	平沢 泉	55	5	289	2001
海洋二酸化炭素センサー	須藤 雅夫, 市川 祥久, 岡島 敬一, 鈴木 款	55	5	297	2001
食塩結晶表面を原子間力顕微鏡で見る	新藤 斎	55	6	383	2001
高度好塩性細菌の遺伝情報維持機構 -DNA傷害防護と修復機構-	寺東 宏明	56	1	3	2002
荷電モザイク膜に関する最近の研究動向	山内 昭	56	2	128	2002
電気再生式脱塩システム -新しい超純水製造法	吉田 章一郎, 渡辺 正, 内野 肇	56	3	220	2002
海水淡水化におけるホウ素除去技術	斉藤 博	56	5	366	2002
海水淡水化技術開発における最近の動向 -海水の膜ろ過技術について-	平井 光芳	56	5	369	2002

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
波浪・潮位を測る	永井 紀彦	56	6	457	2002
食品加工における塩の役割	田島 眞	57	1	3	2003
調理における食塩の役割	香西 みどり	57	1	7	2003
発酵漬物と塩	宮尾 茂雄	57	1	11	2003
海底堆積物における有機物の特徴と挙動	石渡 良志	57	3	181	2003
海底堆積物における長寿命人工放射性核種の分布と挙動 -ア イリッシュ海の沿岸堆積物-	山本 政儀	57	3	192	2003
海底堆積物と間隙水における相互作用	佐々木 建一, 乗木 新一郎	57	3	205	2003
マングローブ堆積物とマングローブ地生態系	宮城豊彦	57	3	215	2003
イオン交換膜の製膜時におけるマイクロ相分離構造の制御	扇澤 敏明, 内野 雄二郎, 久保山 敬一	57	5	349	2003
製塩のための熱法による海水濃縮の単純化モデルによる検討	奥山 邦人	57	5	356	2003
熱法による海水濃縮の数値シミュレーション	吉田 正道	57	5	362	2003
水溶液並びに海水中内分泌攪乱物質のパーペーパレーション法 を用いた濃縮分離	樋口 亜紺, 尹 富玉	58	1	3	2004
EDIにおける弱電解質の除去	野口 幸男	58	2	167	2004
EDIの応用例	金澤 直也, 元木 敏	58	2	174	2004
制御性を考慮した連続晶析装置の設計技術	外輪 健一郎	58	5	448	2004
未飽和操作を利用した粒径分布制御	滝山 博志	58	5	455	2004
磁場環境でのL-アラニンの結晶成長	小川 薫, 清水 健司	58	5	462	2004
岩塩鉱床	亀倉 正博	58	6	547	2004
食塩結晶の色	三好 永作	58	6	555	2004
マリンゲノム研究の今後の展望	松永 是, 竹山 春子, 横内 裕子	59	1	4	2005
海洋微生物資源ライブラリー: 培養可能株の多様性と産業利用	笠井 宏朗	59	1	12	2005
ナトリウムバランスの調節機構: 海から陸への適応	今井 正	59	2	97	2005
食塩と高血圧	木村 玄次郎	59	2	102	2005
ミネラル (Na, K, Ca, Mg and P) 出納に及ぼすナトリウムの効果	西牟田 守	59	2	109	2005
塩と味覚 -人体の側から	山本 隆	59	2	115	2005
塩と味覚 -食品の側から	畑江 敬子	59	2	121	2005
体液と血圧の調節から見た塩と健康	今井 正	59	3	179	2005
海水・食塩中微量元素の多元素定量法	藪谷 智規	59	4	242	2005

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
水溶液中並びに海水中に含有する内分泌攪乱物質の濃縮と分離並びに分析	樋口 亜紺	59	4	246	2005
味覚センサーによる食塩の呈味の定量化	都甲 潔, 陳栄 剛, 羽原 正秋	59	4	262	2005
新しい海水ウラン捕集システムの提案	瀬古 典明, 笠井 昇, 清水 隆夫, 玉田 正男	59	5	316	2005
ホヤの金属濃縮機構と海水中のレアメタルの選択的分取への応用	道端 齊, 植木 龍也	59	5	326	2005
浸透圧発電	谷岡 明彦	60	1	4	2006
21世紀の五大問題と海洋温度差発電の役割	上原 春男	60	1	8	2006
波力発電システムの研究開発	羽田野 袈裟義	60	1	13	2006
港湾・沿岸域における風力発電の推進	穴戸 達行, 三好 宏昌	60	1	20	2006
地下鹹水の定義と事例	高村 弘毅, 丸井 敦尚	60	2	86	2006
ヨウ素を含有するかん水の濃縮機構	三田 勲, 樋口 康則, 樋口 朋之	60	2	91	2006
天然ガス・油田地帯の地下古海水中に生息する微生物の生態解明	持丸 華子, 鎌形 洋一	60	2	98	2006
天然ガスとヨードの高度利用	海宝 龍夫, 佐藤 匡臣	60	2	105	2006
閉鎖性海域の汚濁の現状と今後の課題	平沢 泉	60	4	224	2006
海域におけるヒト病原ウイルス汚染	佐野 大輔, 植木 洋, 大村 達夫	60	4	229	2006
海産魚類の塩分適応におけるTMAOと尿素の役割	岩田 勝哉	60	5	324	2006
<b>3. 進歩総説</b>					
塩水環境における腐食と防食	梶野秀夫	51	1	3	1997
イオン交換膜技術に関する最近の研究動向 (その1)	糸井 滋, 小暮 誠, 須藤 雅夫, 田中 良修, 寺田 一郎, 野間 義昭, 堀江 浩文, 吉田 章一郎	52	2	51	1998
イオン交換膜技術に関する最近の研究動向 (その2)	糸井 滋, 川口 明廣, 川嶋 武人, 小暮 誠, 谷岡 明彦, 甘楽 和夫, 堀江 浩文, 三好 浩文, 吉田 章一郎	52	5	261	1998
東・東南アジアのマングローブ植生研究	鈴木 邦雄	53	3	155	1999
イオン交換膜技術に関する最近の研究動向 (その1)	正司 信義, 須藤 雅夫, 田中 良修, 谷岡 明彦, 花田 文夫, 三好 浩文, 山内 昭, 吉田 章一郎	55	5	268	2001

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
<b>4. 講 座</b>					
イオン交換膜技術に関する最近の研究動向 (その2)	川口 明廣, 川嶋 武人, 小暮 誠, 寺田 一郎, 吉田 章一郎	55	6	361	2001
鋼構造物用防食塗料と塗装 (その3)	石川 時昭	51	2	78	1997
製塩設備用機器の製作	赤木 俊夫, 渡辺 治	51	2	89	1997
多成分水溶液系の平衡組成の計算法とその応用	尾上 薫, 三朝 元勝	51	6	358	1997
海水淡水化逆浸透モジュールの要件と現状	関野 政昭	52	2	107	1998
食品加工・貯蔵における塩の機能と役割	田中 宗彦	52	6	352	1998
ユーザーのための塩学入門 その1	尾方 昇	53	1	18	1999
塩と健康 (1) 塩は高血圧に関係しているか?	橋本 壽夫	53	5	356	1999
ユーザーのための塩学入門 その2 ー分析結果から何が判るかー	尾方 昇	53	6	445	1999
塩と健康 (2) 減塩に降圧効果はあるのか? また減塩は可能であり, 危険性はないか?	橋本 壽夫	54	1	45	2000
ユーザーのための塩学入門 その3 ー使いやすさを求めるー	尾方 昇	54	3	175	2000
塩と健康 (3) 塩と高血圧問題に関する論争	橋本 壽夫	54	5	366	2000
ユーザーのための塩学入門 その4 ーどんな塩を選ぶかー	尾方 昇	55	2	87	2001
塩と健康 (4) 食塩と各種疾患との関係	橋本 壽夫	55	3	153	2001
電気防食 (その1)	秋浜 成友, 山田 和男	55	5	307	2001
食用塩安全衛生ガイドラインの解説	尾方 昇	55	6	392	2001
電気防食 (その2)	秋浜 成友, 山田 和男	55	6	397	2001
電気防食 (その3)	秋浜 成友, 山田 和男	56	2	135	2002
「材料・構造物」金属腐食の電気化学入門 (その1)	梶野 秀夫	57	2	93	2003
金属腐食の電気化学入門 (その2)	梶野 秀夫	57	5	368	2003
<b>5. 総合論文</b>					
電気透析に於けるイオン交換膜の同符号イオン間選択透過性に関する研究	佐田 俊勝	52	3	113	1997
製塩工場管理のための自動, 簡易測定システムの開発	吉川 直人, 眞壁 優美	56	4	228	1997
沿岸海域における生物生産機構に関する研究	松永 勝彦	56	6	359	1998
瀬戸内海から単離された新規微生物 (Thraustochytrium) の生育特性と資源化	山岡 到保, M. L. GARMONA	59	2	128	2003



日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
6. 一般報文					

6.1 海水・かん水の濃縮および脱塩

(1) イオン交換膜法

Disinfection of River Water Using an Electrodialytic Disinfection System	T. SATO, M. AKIBA, T. SUZUKI, H. OHYA	51	3	113	1997
イオン交換膜面付着物層内における濃度分極	田中 良修	51	4	228	1997
微孔膜限界電流値法によるイオン交換膜の動的輸率測定法	須藤 雅夫, 居波 永治	52	6	359	1998
高濃度塩濃縮に関する一考察	山内 昭, 江原 亮, 吉田 章一郎	57	2	128	2003

(2) 蒸発法

スプレーフラッシュ蒸発式海水淡水化に関する実験的研究	上原 春男, 池上 康之, 中岡 勉, 廣田 稔治	51	1	34	1997
スプレーフラッシュ蒸発式海水淡水化システムの最適化	中岡 勉, 池上 康之, 津田 稔, 上原 春男	51	6	375	1997
多重効用型膜蒸留式太陽熱利用淡水化装置の開発	村瀬 和典, 込山 有人, 池谷 厚, 古川 雄一郎	54	1	30	2000
高性能多重効用海水濃縮器の提案とその性能予測	野底 武浩, 金城 努, 儀間 悟	58	1	102	2004
スプレーフラッシュ蒸発式海水淡水化に関する実験的研究(噴流方向の影響)	池上 康之, 佐々木 大, 合田 知二, 上原 春男	59	1	68	2005
上向き噴流式フラッシュ蒸発海水淡水化に関する実験的研究(噴流状態と温度分布)	佐々木 大, 池上 康之, 門出 政則, 上原 春男	59	5	354	2005
上向き噴流式フラッシュ蒸発海水淡水化に関する実験的研究(整理式の導出)	佐々木 大, 池上 康之, 和嶋 隆昌, 門出 政則	59	6	445	2005

(3) 逆浸透法

未利用エネルギーを利用した高温淡水化プロセス	高羽 洋充, 中尾 真一	54	1	37	2000
濃度分極モデルに基づく逆浸透法海水淡水化プラントの性能シミュレーションに関する研究	谷口 雅英, 木原 正浩, 山村 弘之, 栗原 優	56	3	247	2002
複合逆浸透膜の耐塩素性と塩素劣化による膜構造, 膜分離特性の変化	植村 忠廣, 栗原 優	57	6	498	2003
膜法による水中ホウ素除去の研究-実証プラントを用いた実験	永井 正彦, 岸 正弘, 平井 光芳, 久保 幸路	58	3	279	2004

(4) その他

Reduction of Water Splitting Effect in Bipolar Membranes	A. TANIOKA, K. SHIMIZU	51	4	205	1997
--	------------------------	----	---	-----	------

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
バイポーラ膜の電気化学特性	山内 昭, 岡部 拓也, 篠崎 倫洋, 戸上 和樹	51	4	213	1997
濃縮海水を用いた透析電池における排熱のエクセルギー変換効率	大矢 晴彦, 土屋 信介, 澤本 眞次郎, 竹内隆, 田村 真紀夫	54	2	136	2000
非電解質存在下での荷電モザイク膜を介した電解質輸送	福田 高士, 山内 昭	56	1	41	2002
電気再生式脱塩プロセスにおけるイオン交換樹脂層内のイオン過程のインピーダンス解析	岩元 和敏, 渡邊 一正, 前橋 孝之, 妹尾 学	57	2	122	2003
白金電極間に充填されたNa形陽イオン交換樹脂層内のイオン過程のインピーダンス解析	岩元 和敏, 妹尾 学	58	2	142	2004
電気式脱塩装置におけるイオン交換体の再生を最適化する研究	高橋 洋平, 中西 収, 秋山 徹, 藤原 邦夫	58	2	150	2004
樹脂配列による電気再生式脱塩装置の最適化	宮松 徳久, 谷岡 明彦	58	2	160	2004
海水熱エネルギーの有効利用のための海水淡水化システムの研究 -南太平洋海域(フィジー海域)の場合-	中岡 勉, 西田 哲也, 一瀬 純弥, 田淵 清春, 鎌野 忠, 池上 康之	60	1	47	2006

## 6.2 海水の資源

### (1) 製塩

A Modelling Study of Caprolactam's Crystal Habit Modification	S. NIEHÖRSTER, M. MATTOS, J. ULRICH	51	1	28	1997
Effect of Additives on the Crystal Growth Rates: Case Study NaCl	J. ULRICH, H. MOHAMEED, S. B. ZHANG, J. J. YUAN	51	2	73	1997
製塩工程の自動化技術(第1報) 差圧法による結晶懸濁密度の検出	長谷川 正巳, 伊藤 浩士, 大久保 和也, 二宮 直義	51	6	363	1997
製塩工程の自動化技術(第2報) 差圧法による缶内液組成管理方法の検討	長谷川 正巳, 伊藤 浩士	51	6	369	1997
製塩工程の自動化技術(第3報) ニューラルネットワークによる粒径制御技術の検討	長谷川 正巳, 伊藤 浩士, 二宮 直義, 新藤 敏晴, 石丸 直之	52	1	22	1998
製塩工程の自動化技術(第4報) ニューラルネットワークを用いた工業晶析装置における粒径制御装置における粒径制御	長谷川 正巳, 伊藤 浩士, 大久保 和也, 二宮 直義	52	1	28	1998
貧溶媒添加法による塩化カリウム存在下の塩化ナトリウムの晶析	金子 正吾, 山上 泰弘, 平沢 泉	55	2	91	2001
貧溶媒添加法における塩化ナトリウムの晶析現象の過飽和依存性	金子 正吾, 山上 泰弘, 梶原 平祐, 平沢 泉	57	1	22	2003

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
The Application of Micro-Bubbles for Dissolution and Crystallization of Calcium Carbonate in Gas-Liquid-Solid System	M. MATSUMOTO, M. ISAGO, K. ONOE	58	5	475	2004
製塩工程の自動化技術(第5報)沈降式インライン粒径分布測定装置の開発	長谷川 正巳, 正岡 功士, 加留部 智彦	58	5	487	2004
Growth of Tube Whiskers of NaCl Observed by Means of Optical Microscopy and Scanning Electron Microscopy	H. SHINDO, D. ARAI, D. SATO, S. YAMAZAKI	58	6	585	2004
イオン交換膜の高性能化による製塩コスト低減効果に関するシミュレーション	吉川 直人	59	4	273	2005
各種製塩プロセスの製塩コスト比較に関するシミュレーション	吉川 直人, 奥山 邦人	59	4	282	2005
Impurity in Sodium Chloride Crystals from a Continuous MSMR Crystal	K. MAEDA, K. TOJO, H. MIKI, Y. ASAKUMA, K. FUKUI	60	3	187	2006
攪拌層型連続晶析装置を用いた塩化ナトリウムの結晶成長現象と結晶品質の関係	正岡 功士, 長谷川 正巳, 篠原 富男	60	4	296	2006
Crystallizer Using a Real-Time, High-Speed Image Processing System	K. NISHI, M. KAMINOYAMA, R. MISUMI, M. KAMIWANO	60	5	365	2006

(2) 海水主成分

海水のスケール成分除去のための有機イオン交換体の開発	柳瀬 一生, 大矢 晴彦, 相原 雅彦, 根岸 洋一, 東島 健, 斎藤 英光	51	3	119	1997
海水スケール成分除去のための有機イオン交換体の特性と圧砕強度	柳瀬 一生, 大矢 晴彦, 相原 雅彦, 根岸 洋一, 徳永 仁	51	3	127	1997
粒状化ナトリウム形テニオライト充填カラムによるかん水中のカリウムイオンとセシウムイオンの選択的除去	五味 俊二, 阪根 英人, 初鹿 敏明, 鈴木 喬, 坂本 和夫	52	3	146	1998
炭酸カルシウムの生成および転移過程におよぼす塩化カルシウム結晶溶解熱の影響	鵜飼 健司, 水野 隆夫, 豊倉 賢	53	2	99	1999
反応晶析による塩基性炭酸マグネシウム粒子の粒径制御	柘植 秀樹, 高橋 裕志, 藤原 英司	55	6	408	2001
モリブデン酸カルシウム結晶の塩化ナトリウムフラックス成長	大石 修治, 飯田 大輔, 鈴木 考臣, 宍戸 統悦	56	1	26	2002
Effective Utilization of Resources Dissolved in Seawater - Reactive Crystallization of CaCO <sub>3</sub> by Multistage Column Crystallizer -	H. TSUGE, K. TAMURA	58	6	570	2004
海水資源の有効利用 - 炭酸リチウムの晶析特性 -	柘植 秀樹, 久世 伊知郎, 藤井 一馬	58	6	579	2004

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
カリックス[4]アレーンによるアルカリ金属イオンの抽出挙動と計算化学	上江洲 一也, 久保田 富生子, 後藤 雅宏	59	5	338	2005
(3) 海水微量成分					
海水ウラン採取に用いる結束アミドキシム型繊維吸着剤の調整およびそのウラン吸着性	高木 憲夫, 広津 孝弘, 榊原 実雄, 加藤 俊作	51	3	133	1997
Recovery of Rare-metal Elements from their EDTA Complex Solution by Means of Electrodialysis Accompanied by Metal Substitution Reaction	H. TAKAHASHI, S. HIRAWATARI, K. KIKUCHI	51	4	219	1997
結束アミドキシム型繊維吸着材の繰り返しウラン吸・脱着特性	高木 憲夫, 広津 孝弘, 苑田 晃成, 榊原 実雄, 加藤 俊作	52	3	177	1998
アクリロニトリルとメタクリル酸との共グラフト重合不織布のアミドキシム化による吸着材の作成および実海域吸着実験	片貝 秋雄, 瀬古 典明, 川上 尚志, 齊藤 恭一, 須郷 高信	53	3	180	1999
5価金属を含むマンガン酸化物系リチウム吸着剤の合成と吸着特性	宮井 良孝, 加納 博文, R. CHITRAKAR, 大井 健太	54	3	189	2000
海流中におけるアミドキシム型繊維束吸着剤のウラン吸着性	高木 憲夫, 広津 孝弘, 苑田 晃成, 榊原 実雄, 加藤 俊作	54	3	242	2000
LiCr(PO <sub>4</sub> ) <sub>1.67</sub> を前駆体とする吸着剤のリチウム吸着性	宮井 良孝, 加納 博文, R. CHITRAKAR, 大井 健太	55	2	97	2001
バージ船によるポンプ流動式海水ウラン採取システムについて	信川 寿, 高木 憲夫, 苑田 晃成, 廣津 孝弘	55	3	166	2001
粒状リチウム吸着剤の多孔化による吸着速度の向上と経済効果	宮井 良孝, 梅野 彩, 加納 博文, R. CHITRAKAR, 坂根 幸治, 大井 健太	56	1	57	2002
Extraction Mechanism of Copper(II) into a Microcapsule Containing 2-Ethylhexylphosphonic Acid Mono-2-Ethylhexyl Ester	E. KAMIO, K. KONDO	56	2	150	2002
協同効果を利用した分子インプリント法によるリチウム選択性鑄型樹脂の調製	鎌田 一郎, 荒木 康祐, 後藤 雅宏, 迫口 明浩, 中塩 文行, 古崎 新太郎	56	3	228	2002
海水リチウム吸着システムについて (火力発電所冷却排水の利用)	齋藤 公男, 信川 寿, 高木 憲夫, 坂根 幸治, 榎本 正芳, 早見 淳志, 生駒 信康, 西川 信二郎	57	1	27	2003

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
<b>(4) 生物</b>					
Preliminary Study on the Potential Usefulness of Jellyfish as Fertilizer	K. FUKUSHI, N. ISHIO, J. TSUJIMOTO, K. YOKOTA, T. HAMATAKE, H. SOGABE, K. TORIYA, T. NINOMIYA	58	2	209	2004
Production of Useful Substances by the Protist Thraustochytrium (labyrinthulids) Isolated from the Seto Inland Sea	Y. YAMAOKA, M. L. CARNONA	59	1	32	2005
クラゲに含まれる窒素およびリンの形態変化とクラゲ肥料化法	福士 恵一, 有田 翼, 南 伸哉, 北方 基一, 辻本 淳一, 山下 雄	60	3	173	2006

**(5) エネルギー**

未利用エネルギーを活用した海水熱源ヒートポンプシステムの性能評価	黒川 恵兒, 秋吉 久士, 三原 道生, 宮武 修	52	1	34	1998
温度成層をもつ開水路への2次元冷噴流の挙動に関する数値解析	藤井 俊子, 池上 康之, 蔡 文新, 門出 政則	58	1	93	2004
静止水槽中への2次元噴流の実験	藤井 俊子, 池上 康之, 門出 政則	58	4	420	2004
安定温度成層場における冷噴流の拡散特性	桜澤 俊滋, 池上 康之, 坂東 晃功, 梅木 雅之, 門出 政則	59	2	138	2005
冷噴流の沈降深度に及ぼす温度成層場の影響	桜澤 俊滋, 池上 康之, 坂東 晃功, 梅木 雅之, 門出 政則	59	4	292	2005
ウエハラサイクルを用いた海洋温度差発電システムに関する研究 - アンモニアの質量分率の影響 -	西田 哲也, 池上 康之, 中岡 勉, 上原 春男	59	6	428	2005
ウエハラサイクルを用いた海洋温度差発電システムの性能試験	池上 康之, 安永 健, 原田 英光	60	1	32	2006
ウエハラサイクルを用いた海洋温度差発電の作動流体の最適組成に関する研究	池上 康之, 安永 健, 原田 英光	60	1	39	2006

**6.3 分析および物性**

**(1) 海水主成分**

製塩工場の海水濃縮工程における溶液組成測定システムの開発 (第1報) 測定システムの基礎的検討	吉川 直人	52	3	162	1998
製塩工場の海水濃縮工程における溶液組成測定システムの開発 (第2報) 測定システムの工程への導入	吉川 直人, 二宮 直義, 山田 文彦, 太田 保, 中本 哲夫, 塚本 孝臣	52	3	170	1998

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
全反射赤外減衰法による高濃度塩類混合溶液組成測定法(第4報)全反射赤外減衰法による自動組成測定システムを用いるかん水組成測定工程試験	眞壁 優美, 吉川 直人, 永谷 剛, 久田 知之, 石橋 照也	56	1	64	2002
Determination of Chloride Ion Cocentration of Concentrated -Seawater Using Near Infrared Spectroscopy	J. Y. CHEN, R. MATSUNAGA, K. ISHIKAWA, H. ZHANG	57	6	491	2003
ビス(1,4,7,10,13,16-ペンタオキサ-16-アザ-シクロオクタデカン-N-カルボジチオ酸) コバルト(II)の特異的接触分解反応に基づく高濃度ナトリウムイオンのフローインジェクション分析	上原 伸夫, 合川 英一, 関根 重徳, 清水 得夫	59	2	131	2005
近赤外分光法による濃縮海水の主要無機イオン成分の測定	陳 介余, 張 函, 松永 隆司	60	2	125	2006

(2) 海水微量成分

海水溶存二酸化炭素の連続計測のための光ファイバーセンサーの開発	須藤 雅夫, 市川 祥久, 居波 永治, Iravan, 岡島 敬一, 鈴木 款, 皆川 昌幸, 金森 敏幸	54	1	21	2000
誘導結合プラズマ発光分析法および誘導結合プラズマ質量分析法による食用塩の多元素定量	紀 杉, 藪谷 智規, 伊藤 彰英, 原口 紘丞	54	2	117	2000
水酸化ガリウム共沈濃縮 - ICP-AESによる海水中の希土類元素の定量	森重 清利, 吉田 征樹, 犬石 貴博, 西川 泰治	55	5	313	2001
The Determination of Selenium Species in Sea Water DAN-HPLC Method	H. HATTORI, Y. NAGAUCHI, Y. SAITO, K. HIRAKI	55	5	333	2001
1-フェニル-3-メチル-4-ベンゾイル-5-ピラゾロンを担持した高分子吸着剤に対する銅(II)イオンの吸着挙動	安西 祐二, 森 優樹, 佐藤 健二, 赤間 美文	56	3	241	2002
ホローファイバー流通型セルによる海水溶存二酸化炭素の光センシング	須藤 雅夫, 市川 祥久, 岡島 敬一, 鈴木 款	56	6	448	2002
塩中マグネシウムを用いる共沈/誘導結合プラズマ発光分析法及び誘導結合プラズマ質量分析法による食塩試料中微量元素の多元素迅速定量法の開発	藪谷 智規, 金澤 隆志, 福田 晃規, 木仲 純子	58	1	36	2004
キレート繊維によるインジウムの吸着	赤間 美文, 山田 孝二, 伊藤 治	58	1	52	2004
1-フェニル-3-メチル-4-ステアロイル-5-ピラゾロンを担持したシリカゲル吸着剤による鉄(III)イオンの拡散反射/吸光度定量	佐藤 健二, 森田 隆史, 高橋 由紀, 田中 誠之, 赤間 美文	58	4	413	2004

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
キレストファイバーIRYによるCo, Niの固相抽出	古閑 美由樹, 山田 孝二, 伊藤 治, 南部 信義, 赤間 美文	59	4	267	2005

(3) 物性

塩化ナトリウムの固結機構の解明(第1報) 環境条件と高純度塩の結晶表面変化の関係	党 弘之, 鍵和田 賢一	53	3	185	1999
Atomic Force Microscopic Observation of Thermally Activated Step Motions on NaCl(001) Surface	H. SHINDO, T. HIYAMA	58	1	30	2004

(4) その他

半経験的分子軌道計算によるイオン交換系におけるリチウムイオンの水和状態	柳瀬 聡, 大井 隆夫	53	2	107	1999
SO <sub>3</sub> <sup>-</sup> 形陽イオン交換体におけるアルカリ金属イオンとのイオン交換に伴う熱力学的諸量の測定	横川 緑, 大井 隆夫	53	6	466	1999
塩中のヘキサシアノ鉄(II)酸塩の分析	古賀 明洋, 新野 靖	58	1	24	2004
石膏-水溶液間の元素分配に関する実験的および分析的検討	鹿園 直建, 小川 貴章	58	1	43	2004
特異的挿入配列を用いた食塩および塩製品中に混入する好塩性微生物の検出法についての検討(その1) -高度好塩性古細菌Halobacterium属の検出について-	寺東 宏明	59	1	61	2005
陰イオン交換カラムを分離, 濃縮と検出反応の一体化した場とするFIシステムによる食塩中のヘキサシアノ鉄(II)酸塩(フェロシアン化物)の迅速, 簡便かつ高感度定量	山根 兵, 伊澤 美紀, 長田 紗絵子	60	5	352	2006

6.4 海水・塩と環境

(1) 耐塩性植物

マングローブ底泥の有機物起源 -Khung Krabaen湾(タイ)-	松永 勝彦, W. THIMDEE, G. DEEN, J. SANGUANSIN, 戸屋 健治	53	5	373	1999
西オーストラリア・レオノラ乾燥地域におけるCO <sub>2</sub> 固定大規模植林技術の検討(1) 塩と植生との関係	松本 剛, 田中 淑子, 小島 紀徳, 加藤 茂, 斉藤 昌宏, 阿部 征雄, 山田 興一	54	3	196	2000
Ichthyofauna in Mangrove Estuaries of the Okinawa, Miyako, Ishigaki and Iriomote Islands during August from 2000 to 2002	K. TACHIHARA, K. NAKANO, K. TOKUNAGA, Y. TSUHAKO, M. TAKADA, T. SHIMOSE	57	6	481	2003

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
サンゴ礁海域での赤土拡散抑制のためのマングローブ林帯と組み合わせた水平水路工の模型実験による若干の検討	佐藤一紘	58	2	199	2004
(2) 塩害と対策					
飽和塩類土壌に対する電気伝導度センサーの開発及び現地観測への応用	洪 寧基, 樹野 淳也, 田島 淳, 関山 哲雄, 玉木 浩二	56	5	393	2002
(3) 海水環境					
海洋施肥法における植物プランクトンによる栄養塩の取り込み速度を考慮した肥料散布方法の検討	小島 紀徳, 堀内 都雄	51	1	43	1997
ラクトフェリン投与による海産魚の体表粘液分泌亢進	角田 出, 佐藤 利夫, 川口 明廣	51	1	51	1997
魚類耳石の元素分析による環境塩分履歴の把握	角田 出	51	4	247	1997
Effect of Water Salinity on the Elemental Composition of Otoliths from <i>Tridentiger obscurus obscurus</i>	I. KAKUTA, M. YUKAWA, Y. NISHIMURA	51	6	388	1997
播磨灘南部における1996, 97年の <i>Gymnodinium mikimotoi</i> 赤潮	越智 正, 吉松 定昭, 松岡 聡, 東 健二, 栢山 高志	52	4	228	1998
UV-A領域の紫外線吸収物質の赤潮生物における存在とその役割	岡市 友利, 山崎 誠, 西尾 幸郎, 越智 正, 多田 邦尚, 片山 信吾	52	4	236	1998
陸水中に存在する有機物・各種元素の河口域における動態	木村 真人, 武藤 和可子, 渡辺 彰	52	5	306	1998
森林起源のフルボ酸鉄がコンブやワカメの生長に果たす効果	松永 勝彦, 和 吾郎, 鈴木 祥広, 安井 肇, G. DEEN	52	5	315	1998
イタヤガイ浮遊幼生に対する止水海水飼育系と流水海水飼育系における飼育水中の細菌叢の影響	勢村 均, 山本 倫久, 佐藤 利夫	53	4	267	1999
急激な環境塩分と水温の変化がヒラメ稚魚耳石の元素組成に及ぼす影響	角田 出	53	4	276	1999
製鋼スラグの底質改善への適用性 (第1報)	沼田 哲始, 宮田 康人, 豊田 恵聖, 佐藤 義夫, 小田 静	53	4	283	1999
円石藻 <i>Emiliania huxleyi</i> のセレン要求性と生育培地の選択	檀原 明子, 白岩 善博	53	6	476	1999
イワガキ浮遊幼生飼育水の細菌叢に及ぼす <i>Nannochloropsis</i> sp. 培養液の影響	佐藤 利夫, 山本 倫久, 勢村 均	54	2	102	2000
北上川に遡上するシロザケの耳石表面元素組成比の変化	角田 出, 飯塚 景記, 菅原 義雄, 土屋 剛, 石井 慶造	54	2	126	2000



日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
赤潮プランクトンによる鉄の摂取速度	中川 憲和, 桜井 謙, 西岡 純, 檜木 勇, 松永 勝彦	54	2	133	2000
多摩川と北上川に生息するコイの生殖腺指数, 血漿中ビテロゲニンとチキロキシン濃度, および肝ミクロソーム内チトクロムP-450含量: 内分泌攪乱化学物質汚染の実態調査	角田 出	54	3	180	2000
南北海道を流れる3河川水中のフルボ酸濃度	築田 満, G. DEEN, W. THIMDEE, 松永 勝彦	54	5	390	2000
光独立栄養細菌 <i>Chlorobium limicola</i> による溶存硫化水素の嫌氣的酸化	高島 正, 森田 純輔, 西機 忠昭, 小西 康裕	55	1	31	2001
室戸海洋深層水の特性	隅田 隆, 田村 愛理, 川北 浩久	55	3	158	2001
Distributions of Dissolved Selenium Species in the Eastern Indian Ocean	H. HATTORI, Y. NAKAGUCHI, M. KIMURA, K. HIRAI	55	3	175	2001
宮城県中部沿岸域に生息するマコガレイの健康状態と生息海域の汚染状況把握 - 生殖腺指数, 肝ミクロソーム内チトクロムP-450含量, 脳内アセチルコリンエステラーゼ活性および血漿中総チロキシンと性ホルモン濃度を指標とした場合 -	角田 出	55	5	322	2001
海水中における有機物分解過程: 植物プランクトンを用いた分解実験 I. 初期有機物濃度依存性	大西 由香, 藤井 実, 村重 慎一郎, 湯沢 篤, 宮坂 均, 鈴木 款	56	1	17	2002
三次元励起・蛍光光度法による沿岸域での溶存有機物の起源の推定	山口 善敬, 中口 譲, 秦野 善行, 荒木 祥子, 今中 麻幸代, 高柳 和史, 坂見 知子, 紀本 岳志, 平木 敬三	56	1	47	2002
Seasonal Variations in Abundance, in situ Growth Rate and Production of Tintinnid Ciliates in Kure Port, the Inland Sea of Japan	N. NAGANO, S. UYE	56	2	142	2002
不稔性アオサ属植物(緑色植物)を利用した沿岸海域浄化機能を有する有用物生産システムの提案	平山 伸, 宮坂 政司, 天野 秀臣, 熊谷 嘉人, 下條 信弘, 柳田 晃良, 亀井 勇統, 岡見 吉郎	56	2	158	2002
ハイドタルサイト様イオン交換体による汽水域からのリン除去	川本 有洋, 鈴木 喬, 佐藤 利夫, 大西 昇一	56	4	309	2002
低酸素曝露がマコガレイの生理指標に及ぼす影響および当該指標による海域の貧酸素化把握 - 貧酸素マーカーとしてのエリスロポイエチン -	角田 出	56	6	432	2002
海水の電解処理による炭酸塩の生成特性 - 大気CO <sub>2</sub> のグローバル削減に関する提案 -	寥沼 克嘉, 鈴木 潤, 新井 修, 黒澤 きよ子, 吉田 幸介	57	2	103	2003

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
室戸海洋深層水媒体下における加熱香気生成反応に関する研究	沢村 正義, 今江 直博, A. K. FAZIAN, 受田 浩之, 深見 公雄	57	2	113	2003
鉛210およびセシウム137から見た相模湾における沈降粒子の振る舞いと堆積フラックス	加藤 義久, 中塚 武, 増澤 敏行, 白山 義久, 嶋永 元裕, 北里 洋	57	3	150	2003
溶液環境の制御による選択凝集を利用した多成分系微粒子分画防波堤での藻場造成の現状と課題	向井 康人, 曾 維平, 入谷 英司 綿貫 啓	57 57	4 6	298 462	2003
廃棄物を利用した生物易付着性コンクリートの開発と藻礁への応用 -強度, 安全性, 生物易付着性に関する基礎的検討-	佐藤 利夫, 野中 資博, 山本 廣基, 高田 竜一, 福田 康伴	57	6	469	2003
Behavior of an Emulsified Fuel (Orimulsion <sup>TM</sup> ) in Saline Waters	I. KASHIKI, M. SAKAI, K. MATSUNAGA, K. AKAMINE	57	6	508	2003
廃棄物利用藻礁コンクリートブロックの実証試験 -大型藻類現存量の経年変化と生物蝟集性-	佐藤 利夫, 野中 資博, 山本 廣基, 高田 竜一, 福田 康伴	58	4	393	2004
水質浄化に使用したリン吸着コンクリートの藻礁への再利用 -アンモニアイオン・リン酸イオンを保持したモルタルの海中における生物膜成長状況-	桑原 智之, 佐藤 周之, 野中 資博, 有田 直美, 佐藤 利夫	59	1	49	2005
イトゴカイ培養コロニーを散布した魚類養殖場底泥における微生物群集の動態	國弘 忠生, 宮崎 智章, 木下 今日子, 佐藤 綾子, 井上 晃宏, 濱 大吾, 大和田 紘一, 堤 裕昭	59	5	343	2005
地下海水を陸上養殖に利用する可能性と問題点ならびに対応策	江端 弘樹, 佐藤 義夫, 福江 正治, 蔦田 智, 榎田 和彦	60	2	110	2006
沖縄琉球石灰岩島の地下海水の取水・性状・養殖特性	今田 克, 前田 広人, 田中 淑人	60	2	119	2006
海水浄化鉛による閉鎖性海域の水質改善の可能性	湊 太郎, 宮内 宣宏, 山崎 正一, 佐藤 義夫, 福江 正治	60	3	181	2006
赤潮原因藻の増減を抑制する鉄キレート剤の探索とその生理生態への影響	牧 輝弥	60	4	243	2006
ノリ養殖に被害を及ぼす大型珪藻 <i>Coscinodiscus wailesii</i> の現存量と沈降速度	小野 哲, 一見 和彦, 多田 邦尚	60	4	253	2006
水俣市沿岸域での養殖マコンブの成長と収穫量 -富栄養化物質の回収と水産資源の振興に向けて-	大和田 紘一, 生地 暢, 森下 惟一, 浅川 牧夫, 濱本 進	60	4	260	2006
東北および関東地方の沿岸海水と河川水中から分離された細菌の有機スズ化合物耐性とその回収・分解能	佐々木 崇, 角田 出	60	4	266	2006

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
紫外線による赤潮防除に関する研究	前田 広人, 池田 俊之, 田岡 洋介, 奥西 将之, 日高 正康, C. SACLAUSO	60	4	275	2006
海上に浮遊した油膜を効率的に分解するための基礎研究	中山 隆雄, 矢野 貴義, 佐藤 義夫	60	4	279	2006
異体類の生理機能を指標とした宮城県中部沿岸海域の環境モニタリング	角田 出	60	4	285	2006
微生物酵素によるミズクラゲの分解処理	土井 宏育, 武田 美貴雄, 岡 達三, 野々村 禎昭	60	6	426	2006

(4) 地球化学

酸性雨中の海塩起源イオンに関する研究	岡元 満美, 牛久保 明邦	53	5	364	1999
沖縄県宮古島サンゴのホウ素同位体組成	野村 雅夫, 大井 隆夫, 丹下 良, 菅 浩伸, 細江 守一, 堀 信行	53	6	471	1999
A0法およびDAPI法を用いた北太平洋海域におけるバクテリア生物量	築田 満, 村田 高勇, 米田 義昭	54	3	205	2000
北太平洋生産層における溶存DNAおよび溶存RNAの海域変動	築田 満, 柳澤 圭, 田中 仁詞, 村田 高勇, 米田 義昭	54	3	218	2000
亜寒帯沿岸海域における溶存核酸の生物地球化学的意義	築田 満, 柳澤 圭, 田中 仁詞, 米田 義昭	54	3	227	2000
海底堆積物間隙水中の溶存窒素化合物濃度の海域的特性	築田 満, 米田 義昭	54	3	234	2000
亜寒帯沿岸水における粒状DNAの時間変動	築田 満, 田中 仁詞, 米田 義昭	54	5	380	2000
海洋における溶存有機炭素および海洋腐植様物質の海域特性に関する研究	山口 善敬, 中口 譲, 木村 宗人, 平木 敬三	55	6	419	2001
東京湾, 陸奥湾及び噴火湾海底堆積物における主要並びに微量元素の分布と挙動	本多 照幸, 木村 賢一郎	57	3	166	2003
Characterization and Temporal Variation of Dissolved Organic Matter along 175° E in the Western North Pacific Ocean in 1995 and 1996	Y. NAKAGUCHI, Y. YAMAGUCHI, M. KIMURA, H. HATTORI, H. TSUBOTA	57	4	306	2003
Biogeochemical Significance of Adenosine Triphosphate Measurements for Estimating the Carbon Biomass of Bacteria in the Central and Eastern North Pacific Ocean during Summer	M. YANADA, H. TANAKA, H. MORISHITA	57	5	387	2003
海洋堆積物中のマンガン酸化バクテリアの分布	佐藤 義夫, 小野 信一, 加藤 義久, 福江 正治, 中村 智巳, 竹松 伸	59	1	40	2005

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
(5) 材料 (腐食)					
製塩装置で使用されるステンレスクラッド鋼溶接部の塩化物応力腐食割れと残留応力制御による防止法	竹本 幹男, 田村 宙治	52	2	98	1998
製塩工程における高濃度電解質水溶液の溶存酸素濃度測定	大久保 和也	54	2	111	2000
製塩プラントにおける高耐食合金の隙間腐食	菅原 克生, 滝沢 与司夫	54	5	372	2000
製塩プラント環境におけるチタンのカソード特性とチタン・モネル間のガルバニック腐食	八代 仁, 川岸 拓也, 熊谷 直昭	59	6	439	2005

6.5 食塩の利用・作用

(1) 食品

海洋深層水媒体下における寒天ゲルのレオロジー特性	沢村 正義, A. K. FAZIAN, 受田 浩之	56	1	32	2002
秋田県男鹿半島沿岸水の主要無機成分と味覚センサ応答値の季節変動	石川匡子, 熊谷昌則, 陳介余, 張函, 松永隆司	56	6	440	2002
味覚センサーを用いた食塩の呈味の定量化に関する研究	都甲 潔, 陳 栄剛, 羽原 正秋	58	1	57	2004
市販食塩の成分含量, 味覚センサ応答値および官能評価の関係	石川 匡子, 熊谷 昌則, 松永 隆司	58	1	64	2004
調理時における呈味成分の食材中への拡散, 序論 一二元吸着拡散染色理論の適用一	小見山 二郎, 橋場 浩子, 牛腸 ヒロミ, 仲西 正	58	4	404	2004
マヨネーズ様水中油滴型エマルションの呈味性に及ぼす市販食用塩の影響	大橋 きょう子, 島田 淳子	60	1	55	2006
熱測定法による食塩の防腐効果の定量的解析	田中 晶善, 坂宮 智樹, 栗冠 真紀子, 三宅 英雄, 深田 はるみ, 妹尾 啓史, 栗冠 和郎, 高橋 克忠	60	2	132	2006
豆腐のゲル強度に及ぼす塩類の影響	眞壁 優美	60	4	302	2006
煮豆における塩類の影響	眞壁 優美	60	5	342	2006
ウメ漬けにおける塩種の違いが脱水, 浸透作用におよぼす影響	中山 由佳, 党 弘之, 眞壁 優美	60	5	348	2006

(2) その他

<i>Bacillus subtilis</i> YS11におけるストレス蛋白質の誘導とファージ増殖に対する食塩の作用	村田 晃, 佐藤 大輔, 佐藤 円康, 神田 康三, 加藤 富民雄	52	5	299	1998
水系, エマルション系および酵素系の脂質過酸化に対するNaClの抗酸化効果	豊崎 俊幸, 坂根 康秀	56	1	10	2002

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
7. ノート					
食塩によるポリフェノールオキシダーゼ活性の阻害メカニズム	大羽 和子, 山本 淳子, 伊藤 幸子, 藤江 歩巳, 竹内 若子	56	3	234	2002
Production of Sugar-Beating Sap from Nipa Palm in Pak Phanang Basin, Southern Thailand	N. BAMROONGRUGSA, C. PURINTAVARAKUL, S. KATO, J. STARGARDT	58	3	304	2004
配列微結晶形成過程のその場観察	斉藤 昇, 横田 政晶, 満尾 由美子, 久保田 徳昭	54	3	250	2000
大型海藻ツルシラモの生長への室戸海洋深層水の影響	垣田 浩孝, 小比賀 秀樹, 上嶋 洋, 北村 孝雄	54	4	310	2000
光独立栄養細菌 <i>Chlorobium limicola</i> による溶存硫化水素の嫌氣的酸化速度に及ぼす光源の影響	高島 正, 森田 純輔, 西機 忠昭, 小西 康裕	55	3	183	2001
High % N and $\delta^{15}\text{N}$ Values in Mangrove Leaves and Sediments of a Mangrove-Fringed Estuary, Thailand - Effects of Shrimp Pond Effluents-	W. THIMDEE, G. DEEIN, W. THIMDEE, C. SANGRUNGRUANG, K. MATSUNAGA	56	2	166	2002
広範囲の粒径に適用可能な溶解速度表示法	党 弘之, 鴨志田 智之, 谷井 潤郎, 篠原 富男	56	3	256	2002
AMF Observation of the Blocking of Step Motion on the (100) Face of an L-Asparatic Acid Crystal Caused by Tailor-Made Additives	M. YOKOTA, K. KAWAGUCHI, S. SASAKI, N. KUBOTA	56	3	261	2002
塩の溶解における粒径分布および粒子形状の影響	鴨志田 智之, 党 弘之, 篠原 富男	56	4	318	2002
Oxidation of Jellyfish Solution in Subcritical Water	H. MIMURA, K. MAEDA, O. HARADA, T. FUJIMURA	56	5	402	2002
市販食用塩中のヨウ素量	新野 靖, 西村 ひとみ, 古賀 明洋	57	2	134	2003
海水中塩化物イオンの簡易分析	釜谷 美則, 進藤 さやか, 長島 珍男	58	1	71	2004
キャピラリーゾーン電気泳動法による海水中のヨウ化物及びヨウ素酸イオンの同時定量	横田 久里子, 福士 恵一	58	1	75	2004
蛍光X線分析法による塩製品中の微量元素簡易分析の可能性	眞壁 優美, 吉川 直人	58	1	80	2004
超臨界炭酸ガス流体による <i>Thraustochytrium</i> CHN-1 のカロチノイド抽出	山岡 到保	58	4	426	2004
炭素, 窒素の安定同位体による水圏の食物網に関する研究	松永 勝彦, 菅原 慎吾, 中山 奈津子, 戸屋 健治	59	1	57	2005

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
Study on the Concentration of Seawater by Means of AC Electric Field	H. ZHANG, J. Y. CHEN, R. MATSUNAGA	59	2	149	2005
分離・濃縮と蛍光検出をインライン統合したフローインジェクション分析法による食塩中の極微量ホウ素の迅速・簡便な定量	山根 兵, 平川 美恵	59	2	153	2005
海洋細菌によるリボフラビン類の生産とリボフラビン類による硫化メチルの光分解	布施 博之, 山岡 到保, 大森 俊雄	59	3	201	2005
Content and Composition of Brominated Compounds in Marine Sponges	Y. YAMAOKA, S. OHTA, M. L. CARMONA, J. M. OCLARIT	60	3	195	2006
海水の蒸発過程での生成析出物の成分変化について	水戸部 祐子, 鈴木 映一, L. A. GUZMAN, 清水 健司	60	4	306	2006
<b>8. Short Paper</b>					
Experimental study on Desalination of Seawater in Imari Bay Using an Upward Spray Flash Desalination Plant	Y. IKEGAMI, T. WAJIMA, H. SASAKI	60	2	137	2006
Facilitated Transport of Carbohydrate Across an Anion-Exchange Membrane Fixed with Borate Ion	M. IGAWA, K. YAMAMOTO, K. MATSUMOTO	60	3	199	2006
New Simple Process of Making Agricultural Cultivation Solution from Seawater	T. WAJIMA, T. SHIMIZU, Y. IKEGAMI	60	3	201	2006
The Dissolution of Jellyfish by Enzyme and the Treatment of Its Wastewater	H. DOI, M. TAKEDA, T. OKA, Y. NONOMURA	60	4	311	2006
Production of Lithium Carbonate by Gas-Liquid Reactive Crystallization	H. TSUGE, I. KUZE	60	5	379	2006
NaCl Crystal Growth Rate under Conditions of Continuous Slurry Feeding	H. TAKIYAMA, S. YOSHIDA, M. MATSUOKA	60	5	381	2006
<b>9. 技術報告</b>					
石炭灰の有効利用技術に関する研究（流動床ボイラ燃焼灰利用技術）	小笹 和夫, 高田 友昭, 泉 秀俊, 甘楽 和夫	53	5	377	1999
高回収率逆浸透法海水淡水化モジュールの性能解析	岩橋 英夫, 岸 正弘, 宮武 修	53	5	386	1999
イミノニ酢酸キレートディスク予備濃縮/プラズマ発光分光分析法による塩中の微量金属の定量	新野 靖, 古賀 明洋	58	1	85	2004
海洋深層水の取水と利用に関する一考察 経済性を中心にした企業化の可能性	今田 克, 歌津 洋一, 古後 正博, 藤尾 良也, 橋本 真幸	58	2	218	2004

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
10. 資 料					
東京湾横断道路（川崎人工島・木更津人工島）見学会報告 東京湾横断道路に用いられている施工技術	白石 秀行	51	2	97	1997
ヨーロッパ塩業調査報告（ヨーロッパ製塩概況）	村上 正祥	51	3	141	1997
「塩試験方法」の改訂について	新野 靖	51	3	150	1997
バイポーラ膜電気透析法による酸・塩基の製造	花田 文夫, 小林 太郎, 山本 貢	51	4	237	1997
電気透析による新しい酸回収プロセス	堀江 浩文	51	4	242	1997
ステンレス鋼の海水環境への適用	東 茂樹, 長野 博夫	52	6	367	1998
耐海水性スーパーステンレス	藤原 最仁	52	6	375	1998
海水環境におけるクラッド鋼の適用	平井 龍至	52	6	384	1998
高度濃縮かん水のせんごう	江原 亮	53	1	25	1999
塩（デニス S. コスティック著 鉱物年鑑：1996年の金属とミネラルより抜粋）	橋本 壽夫訳	53	6	450	1999
食用塩の種類とその特徴 その2	尾方 昇	57	1	17	2003
タイトルサービス イオン交換膜技術に関する研究（1998-1999）	吉田 章一郎, 田中 良修, 三好 浩文, 山内 昭	57	1	34	2003
製塩装置材料ワークショップの概要	梶野 秀夫	57	2	77	2003
大型設備フランジ内に不溶性電極を挿入して行うすきま腐食の防止	兒島 洋一, 浅野 長仁, 辻川 茂男	57	2	84	2003
不飽和ポリエステル樹脂系複合材料の製塩装置材料への適用可能性の検討	津田 健, 久保内 昌敏	57	2	89	2003
タイトルサービス イオン交換膜技術に関する研究 -基礎（1999-2000）	吉田 章一郎, 田中 良修, 三好 浩文, 山内 昭	57	3	224	2003
海水の化学	松永 勝彦	57	4	253	2003
製塩における晶析技術の研究と開発動向	長谷川 正巳	57	4	256	2003
リチウム採取実用化技術	大井 健太, 坂根 幸治	57	4	261	2003
キチン・キトサンの吸着分離剤への応用	吉田 弘之	57	4	265	2003
海水中のイオンを識別する抽出試薬カリックスアレーン	後藤 雅宏, 久保田 富生子	57	4	270	2003
海水の有効利用における機能性荷電膜の役割とその展望	山内 昭	57	4	274	2003
ナノテクノロジーと膜技術の接点	市村 重俊	57	4	277	2003
火山性海底堆積物の分析方法の検討	木川田 喜一	57	4	281	2003

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
海水環境：高二酸化炭素の影響	石松 惇, 吉川 貴志, 林 正裕, 喜田 潤	57	4	285	2003
海水環境：低酸素の影響	竹田 達右	57	4	289	2003
CO <sub>2</sub> 海洋隔離プロジェクトの概要と課題	間木 道政	57	4	293	2003
タイトルサービス イオン交換膜技術に関する ー応用(1999-2000)	吉田 章一郎, 田中 良修, 三好 浩文, 山内 昭	57	4	316	2003
タイトルサービス イオン交換膜技術に関する ー基礎(2000-2001)	吉田 章一郎, 田中 良修, 三好 浩文, 山内 昭	57	5	382	2003
「沿岸の調和的開発・利用」 沿岸・浅海域の環境資源情報および生態系管理技術に関する動向	鈴木 茂, 岡村 淳	57	6	416	2003
化学(イオン)センサーを用いた環境モニタリング	木村 恵一	57	6	426	2003
生物および生物機能を指標とした沿岸・浅海環境モニタリング	角田 出	57	6	430	2003
沿岸・浅海域環境保全のための工学的手法について	佐藤 義夫, 福江 正治, 上野 信平, 沼田 哲始, 山崎 正一, 湊 太郎	57	6	439	2003
海洋生態機能を利用した沿岸・浅海域の環境修復技術	山岡 到保	57	6	449	2003
砂地海底での藻場の復元・創出技術	川崎 保夫	57	6	455	2003
タイトルサービス イオン交換膜技術に関する研究 ー応用(2000-2001)	吉田 章一郎, 田中 良修, 三好 浩文, 山内 昭	57	6	517	2003
タイトルサービス イオン交換膜技術に関する研究 ー基礎(2001-2002)	吉田 章一郎, 山内 昭, 三好 浩文	58	1	110	2004
タイトルサービス イオン交換膜技術に関する研究 ー応用(2001-2002)	吉田 章一郎, 山内 昭, 三好 浩文	58	2	224	2004
最近の進展	後藤 藤太郎	58	3	242	2004
福岡地区水道企業団海水淡水化施設の概要と新技術	濱野 利夫	58	3	244	2004
高圧高回収一段脱塩システムと逆浸透膜	熊野 淳夫	58	3	248	2004
浸透取水方式海水取水設備	林 秀郎	58	3	252	2004
膜ろ過式前処理設備	岩堀 博, 多田 直樹, 安藤 雅明	58	3	255	2004
ペルトンタービン型圧力エネルギー回収設備	萩野 光俊	58	3	259	2004
海水淡水化施設の計装・制御	松尾 弘樹	58	3	261	2004
トリニダードトハゴの例	房岡 良成	58	3	264	2004
圧力変換型エネルギー回収装置 ーPressure Exchangerー	林 茂寿	58	3	273	2004
知的海洋観測ロボット	近藤 逸人	58	4	337	2004



日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
海洋観測機器について－海をはかる 海ではかる－	紀本 岳志	58	4	343	2004
海洋観測技術－現場化学分析法と熱水活動調査から－	岡村 慶	58	4	348	2004
宇宙からの観測技術－海洋リモートセンシングとサンゴ礁	松永 恒雄	58	4	355	2004
有機スズ代替防汚剤と沿岸海洋環境	岡村 秀雄	58	4	361	2004
日本の亜熱帯海域における海草藻場観測技術の開発	山室 真澄	58	4	367	2004
豊島廃棄物問題とその対応	田中 勝	58	4	373	2004
21世紀における付着生物対策技術	川辺 充志	58	4	378	2004
洋上風力発電技術	牛山 泉	58	4	384	2004
タイトルサービス イオン交換膜技術に関する研究－基礎と応用(2002-2003)	吉田 章一郎	58	5	506	2004
塩の結晶形状変化	鍵和田 賢一	58	6	563	2005
塩結晶における共存成分と固結の関係	党 弘之	59	6	566	2005
マイクロバブルを利用した環境浄化と食の安全確保	高橋 正好	59	1	17	2005
ミネラルと人体	鈴木 和春	59	2	128	2005
有用無機資源の回収・利用技術	大井 健太	59	6	387	2005
海水資源の総合利用－製塩技術－	益子 公男	59	6	390	2005
塩・にがりの利用	橋本 壽夫	59	6	393	2005
造水技術および水利用－海水淡水化－	太田 敬一	59	6	396	2005
バイオマス資源の有効利活用を目指した取組み	角田 出	59	6	402	2005
製塩・造水, 有用無機成分の採取に係る附属技術	赤木 俊夫	59	6	408	2005
エネルギー資源の開発・利用	湊 章男	59	6	410	2005
沿岸・浅海域の有効利活用と環境保全に向けた取組み	角田 出	59	6	414	2005
沿岸域における海水資源と水質環境シミュレーション	村上 和男	59	6	420	2005
海水資源の開発・回収・有効利用に関する諸機関の取組みの現状と問題点	拓植 秀樹	59	6	424	2005
製鋼スラグ潜堤材と鉄鋼スラグ炭酸固化体への生物着生	宮田 康人, 高橋 達人, 藪田 和哉, 戸澤 宏一, 佐藤 義夫	60	3	152	2006
マイクロバブルの工学・工業への利活用	拓植秀樹	60	3	157	2006
マイクロおよびナノバブルの環境, 生物生産・食品および医療分野への利活用	角田 出	60	3	160	2006
ナノあるいはマイクロテクニクを用いた膜作成および膜処理	中尾 真一	60	3	164	2006

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
イオン鑄型吸着剤の吸着技術	榎田 洋二	60	3	167	2006
安全性確保を目指した魚類飼育施設の整備について	今田 博之, 鈴木 泰典	60	3	170	2006
閉鎖性海域の低(貧)酸素化とその対策	角田 出	60	4	238	2006
海水の濃縮とミネラル	杉田 静雄	60	5	335	2006
拡大する海水淡水化膜技術	関野 政昭, 熊野 淳夫, 藤原 信也	60	6	408	2006
福岡海水淡水化施設の運転状況	濱野 利夫	60	6	415	2006
スパイラル型分離膜モジュールの海水淡水化への適用	岩堀 博	60	6	422	2006
<b>11. まえがき</b>					
「日中電気透析シンポジウム」参加の記	妹尾 学	51	4	167	1997
海洋の環境変化とサンゴ礁	菅 浩伸	56	2	97	2002
「メタンハイドレード」特集に当たって	廣津 孝弘	56	4	284	2002
「海を測る」	角田 出	56	6	424	2002
「沿岸海底堆積物はどこまで解明されているか」特集にあたって	本多 照幸	57	3	149	2003
「海水濃縮に関するプロジェクト研究」の立ち上げ	大矢 晴彦	57	5	345	2003
特集「沿岸の調和的開発・利用」第18期活動報告書の背景と目的	佐藤 利夫	57	6	413	2003
電気再生式脱塩(EDI)小特集にあたって	山内 昭	58	2	140	2004
晶析特集を企画するに当たって	平沢 泉	58	5	447	2004
「海洋エコバイオの世界」を特集するに当たって	角田 出	59	1	3	2005
特集「海水および塩の分析技術－測る－わかる－」によせて	後藤 雅宏	59	4	230	2005
特集 海をわかるに寄せて	後藤 雅宏	59	5	315	2005
沿岸・浅海域の資源の有効活用を目指した技術開発	角田 出	59	6	385	2005
特集 海洋エネルギーに寄せて	比嘉 充	60	1	3	2006
古くて新しい海水資源「地下かん水」!?	矢沢 勇樹, 尾上 薫, 武田 弘, 山口 達明	60	2	84	2006
特集「閉鎖系海域の汚濁の現状と今後の課題」	平沢 泉, 角田 出	60	4	223	2006
特集「生き物・食品とミネラル」	角田 出	60	5	323	2006

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
<b>12. 特 集</b>					
50周年記念事業 日本海水学会の21世紀に向けての展開 魅力ある学会にするための事業について魅力ある学会にするための事業について	鈴木 喬	54	6	411	2000
50周年記念事業 日本海水学会の21世紀に向けての展開 海水学会とともに50年 - 今後も海水に夢を-	石坂 誠一	54	6	413	2000
50周年記念事業 日本海水学会の21世紀に向けての展開 海洋, 特に沿岸の生態と環境	松永 勝彦	54	6	417	2000
50周年記念事業 日本海水学会の21世紀に向けての展開 海水中の微量無機成分の採取	廣津 孝弘	54	6	420	2000
50周年記念事業 日本海水学会の21世紀に向けての展開 食塩と調理	畑江 敬子	54	6	425	2000
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) 海外派遣事業について	柘植 秀樹, 片岡 悟	54	6	429	2000
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) Salt2000の概要	有田 正俊, 鈴木 喬	54	6	431	2000
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) 日本の塩業界にとってのSalt2000 - 私から見た -	前園 利治	54	6	436	2000
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) 研究発表会の概要 ・ プレナリ・セッションとヨード添加塩に関するセッション	橋本 壽夫	54	6	439	2000
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) 研究発表会の概要 ・ 晶析	平沢 泉, 長谷川 正巳	54	6	442	2000
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) 研究発表会の概要 ・ 電気透析/脱塩 (Electrodialysis/Desalination)	山内 昭	54	6	445	2000
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) 研究発表会の概要 ・ サンプルング・分析	山根 兵, 吉川 直人	54	6	447	2000
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) 研究発表会の概要 ・ 塩の加工	久保田 徳昭, 党 弘之	54	6	449	2000

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) 研究発表会の概要 ・クロラルカリマーケット	益子 公男, 古賀 明洋	54	6	451	2000
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) 研究発表会の概要 ・道路用塩	尾方 昇	54	6	453	2000
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) 研究発表会の概要 ・塩と食品・農業	香西 みどり, 加藤 茂	54	6	455	2000
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) 研究発表会の概要 ・塩の新しい利用	鈴木 喬	54	6	457	2000
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) 研究発表会の概要 ・塩と環境	松永 勝彦	54	6	459	2000
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) 研究発表会の概要 ・エコシステムとしての製塩	寺東 宏明, 加藤 茂	54	6	460	2000
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) 見学記 ・アクゾ社ヘンゲロ製塩工場見学	山田 文彦	54	6	463	2000
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) 見学記 ・アクゾ社ロッテルダム電解ソーダ工場	西機 忠昭	54	6	465	2000
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) 見学記 ・Delft University of Technology's Laboratory	清水 泰	54	6	467	2000
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) 見学記 ・ソルベー社岩塩鉱山	後藤 富士雄	54	6	469	2000
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) 印象記 ・第8回塩国際シンポジウムに出席して	加藤 俊作	54	6	471	2000
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) 印象記 ・国際塩シンポジウムのあゆみ	武本 長昭	54	6	473	2000
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) 印象記 ・ハーグ・ソルト2000雑感	松本 美鈴	54	6	475	2000
50周年記念事業 第8回国際塩シンポジウム (Salt2000) 印象記 ・第8回国際塩シンポジウムに参加して	吉田 章一郎	54	6	476	2000
50周年記念事業 日本海水学会の50年の足跡 「記録作成」事業について	片岡 悟	54	6	478	2000

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
50周年記念事業 日本海水学会の50年の足跡 日本海水学会50年歩み	村上 正祥	54	6	479	2000
50周年記念事業 日本海水学会の50年の足跡 「一覧記録」・「集約資料」の紹介	記録作成委員会	54	6	491	2000
「21世紀海水科学の展望」20世紀の海水科学を顧みて 西日本支部の歩み	加藤 俊作	55	4	211	2001
「21世紀海水科学の展望」21世紀への学術・技術展望 塩の研究	片岡 悟	55	4	214	2001
「21世紀海水科学の展望」21世紀への学術・技術展望 海洋深層水の利用	豊田 孝義	55	4	216	2001
「21世紀海水科学の展望」21世紀への学術・技術展望 微量金属の採取・分離	廣津 孝弘	55	4	223	2001
「21世紀海水科学の展望」21世紀への学術・技術展望 海洋環境における内分泌攪乱物質問題の現状と課題	田辺 信介	55	4	228	2001
「21世紀海水科学の展望」21世紀への学術・技術展望 海水淡水化	宮武 修	55	4	236	2001
「21世紀海水科学の展望」21世紀への学術・技術展望 海水温度差エネルギー利用の現状と今後の展望（地域熱供給に おける海水エネルギー利用）	馬場 敬之	55	4	240	2001
「21世紀海水科学の展望」おわりに 21世紀の海水科学への期待	柘植 秀樹	55	4	245	2001
「サンゴ礁」海洋の炭素循環におけるサンゴ礁の役割 -石垣 島白保裾礁, グレートバリアリーフ, パラオ堡礁, マジェロ環 礁, モルジブ・南マレ環礁-	川幡 穂高, 鈴木 淳	56	2	98	2002
「サンゴ礁」サンゴ骨格による気候変動解析	鈴木 淳, 川幡 穂高	56	2	103	2002
「サンゴ礁」近年のサンゴの白化現象と大規模なサンゴ礁の白 化現象 -新たなサンゴ礁の脅威-	中野 義勝	56	2	108	2002
「サンゴ礁」海洋汚染指標としてのサンゴ骨格中の重金属元素	井上 麻夕里, 鈴木 淳, 菅 浩伸	56	2	113	2002
「サンゴ礁」サンゴ骨格に記録された小氷期における熱帯域の 気候変動	渡邊 剛	56	2	118	2002
「サンゴ礁」サンゴ礁の形成過程と沿岸の環境変化 -海面上 昇と完新世高エネルギーウインドウの再来-	菅 浩伸	56	2	123	2002

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
「メタンハイドレート」メタンハイドレートの生成・分解機構	駒井 武, 山本 佳孝	56	4	286	2002
「メタンハイドレート」メタンハイドレートの相平衡と構造相転移	大垣 一成, 菅原 武	56	4	292	2002
「メタンハイドレート」メタンハイドレートの開発技術	市川 祐一郎	56	4	297	2002
「メタンハイドレート」我が国のメタンハイドレートの資源化に向けたメタンハイドレートの研究開発の現状について	米澤 哲夫	56	4	306	2002
<b>13. 小 特 集</b>					
「海洋汚染事故と海水利用工業の障害対策」最近の油流出事故と海洋環境保全対策	志々目 友博	53	2	70	1999
「海洋汚染事故と海水利用工業の障害対策」油流出事故による海洋汚染とその対策	鈴木 淑夫	53	2	78	1999
「海洋汚染事故と海水利用工業の障害対策」石油汚染の海洋生物への影響評価及び石油除去作業者の障害と対策	緒方 正名, 藤澤 邦康	53	2	84	1999
「海洋汚染事故と海水利用工業の障害対策」海水取水設備の流出油対策	山上 正明	53	2	95	1999
「工業晶析国際シンポジウム -工業晶析の総括と21世紀への展望-」開催の経緯	平沢 泉	53	3	132	1999
「工業晶析国際シンポジウム -工業晶析の総括と21世紀への展望-」晶析の基礎現象	久保田 徳昭	53	3	136	1999
「工業晶析国際シンポジウム -工業晶析の総括と21世紀への展望-」晶析プロセスの動向	平沢 泉	53	3	142	1999
「工業晶析国際シンポジウム -工業晶析の総括と21世紀への展望-」食品・医薬品関連分野での晶析技術	川喜田 哲哉	53	3	148	1999
「海水淡水化における逆浸透法の高圧化・高回収率化」高回収率逆浸透法海水淡水化への道	中尾 真一	53	6	409	1999
「海水淡水化における逆浸透法の高圧化・高回収率化」逆浸透法海水淡水化コスト低減方法と技術的課題	太田 敬一	53	6	412	1999
「海水淡水化における逆浸透法の高圧化・高回収率化」高効率2段法海水淡水化システムの開発と実証	山村 弘之, 中西 貴之, 木原 正浩, 栗原 優	53	6	418	1999
「海水淡水化における逆浸透法の高圧化・高回収率化」海水淡水化のための前処理用UF膜モジュール	小原 知海	53	6	423	1999

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
「海水淡水化における逆浸透法の高圧化・高回収率化」高回収率方式の特徴と課題	岩橋 英夫, 永井 正彦	53	6	428	1999
「海水淡水化における逆浸透法の高圧化・高回収率化」水道水源としての海水淡水化施設の現状と今後の技術動向	金城 義信	53	6	432	1999
「海水淡水化における逆浸透法の高圧化・高回収率化」中空糸型逆浸透モジュールによる高圧高回収率海水淡水化技術	関野 政昭, 藤原 信也	53	6	439	1999
「世界の水不足と海水淡水化」世界的な水不足問題への提言	山脇 道夫	55	3	119	2001
「世界の水不足と海水淡水化」地球規模での水不足の現状と将来	原 道宏	55	3	122	2001
「世界の水不足と海水淡水化」海水淡水化技術の現状とその将来	平井 光芳	55	3	130	2001
「世界の水不足と海水淡水化」世界での淡水化計画の現状と将来	平井 光芳, 湊 章男	55	3	141	2001
「世界の水不足と海水淡水化」淡水化に必要なエネルギー源とその将来	湊 章男	55	3	145	2001
「造水・水利用」福岡都市圏における海水淡水化事業とその特徴について	中島 悦郎	56	3	204	2002
「造水・水利用」高効率・高回収逆浸透海水淡水化技術 ―ナノろ過膜の海水処理への適用試験―	谷口 良雄	56	3	214	2002
「造水・水利用」第一回地中海南岸諸国における脱塩戦略にかかわるヨーロッパ地中海会議	秋谷 鷹二, 太田 敬一, 岡林 信夫, 田中 良修, 江原 亮	56	3	217	2002
「晶析」塩基性炭酸マグネシウムの粒径制御	柘植 秀樹, 大谷 奈都子	56	5	340	2002
「晶析」塩化ナトリウム結晶成長における不純物の影響	長谷川 正巳, 正岡 功士	56	5	346	2002
「晶析」晶析槽内における結晶成長過程に及ぼす攪拌操作の影響	上ノ山 周, 仁志 和彦	56	5	350	2002
「晶析」CO <sub>2</sub> マイクロバブルを利用した炭酸カルシウムの反応晶析	尾上 薫, 松本 真和, 秋谷 鷹二	56	5	357	2002
「晶析」グルタミン酸ナトリウムの工業晶析	川喜田 哲哉	56	5	362	2002

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
<b>14. 解 説</b>					
海水ウラン採取研究の現状	斎藤 恭一, 古崎 新太郎	51	5	282	1997
海水からのリチウム採取技術の開発 (1) 海水リチウム吸着剤	大井 健太	51	5	285	1997
海水からのリチウム採取技術の開発 (2) 採取システムとシミュレーション	信川 寿	51	5	289	1997
海洋深層水の利用	谷口 道子	51	5	293	1997
海洋深層水を利用した海水淡水化技術	関野 政昭, 柳川 明彦, 谷口 道子	51	5	297	1997
最新の海水の元素組成表(1996年版)とその解説	野崎 義行	51	5	302	1997
海洋微生物の特性, 多様性とその利用	大和田 紘一	51	5	309	1997
海底鉱物資源マンガン団塊の微生物処理	小西 康裕	51	5	314	1997
海水中の有価金属を高度に認識する抽出試薬	梶 隆彦, 後藤 雅宏	51	5	319	1997
環礁域における多機能型海洋温度差エネルギー利用システム	田中 忠良, 高沢 弘幸, 天野 雅継	51	5	325	1997
深海底からみた地球	堀田 宏	51	5	331	1997
マリンポリマーの有効利用	浦上 忠	51	5	335	1997
懸濁系における晶析現象	横田 政晶	52	1	3	1998
高性能キャピラリー電気泳動法とその海水分析への応用	本水 昌二, 高柳 俊夫	53	3	166	1999
調理と食塩	畑江 敬子	53	5	350	1999
晶析工学と製塩晶析技術	豊倉 賢	54	1	13	2000
有害化学物質による海洋汚染とその観測	功刀 正行	58	1	13	2004
EDIの数値シミュレーション	菊池 賢一, 高橋 博	58	2	180	2004
電気脱イオン法の超純水製造装置への応用	森部 隆行	58	2	189	2004
前処理技術の進歩 -膜法を中心に-	永井 正彦	58	3	268	2004
ミネラル・サプリメントとしてののにがり	橋本 壽夫	59	3	189	2005
海洋深層水が含むミネラルとその利用の現状	高橋 正征	59	3	195	2005
ゲル捕集法を併用する黒鉛炉原子吸光分析法を用いる食塩中の微量元素の定量法	松崎 浩司	59	4	231	2005
海水利用の高効率化および高度化推進のための化学分析の自動化	山根 兵	59	4	236	2005
海水溶存二酸化炭素の光ファイバーセンサーの開発	須藤 雅夫	59	4	257	2005
膜状吸着剤による海水からのリチウム吸着システム	梅野 彩, 坂根 幸治, 大井 健太	59	5	320	2005



日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
温度応答親・疎水性を有する新規イオン交換膜の作製とその特性評価	比嘉 充	59	5	332	2005
濃度差電池	岩元 和敏	60	1	26	2006
東京湾における水銀汚染の現状とその負荷源	坂田 昌弘	60	3	147	2006
食品に残留する農薬等のポジティブリスト制度について	野田 寧	60	5	358	2006
海水からの実用的リチウム回収技術の展望	吉塚 和治	60	6	394	2006
Tangential Flow Filtration of Aedes Aegypti Densonucleosis Virus	D. L. GRZENIA, B. HAN, S. R. WICKRAMASINGHE	60	6	401	2006
<b>15. トピックス</b>					
工業晶析に関する国際シンポジウムについて	秋谷 鷹二	53	1	30	1999
海洋生物による炭酸カルシウム生成について	鵜飼 健司	53	1	31	1999
ICP-MSによる海水中の微量成分の直接定量	木川田 喜一	53	2	115	1999
鹹水からのヨウ素の採取と有効利用	尾上 薫	53	2	117	1999
超高压逆浸透法による海水淡水化	神澤 千代志	53	3	195	1999
高压殺菌に及ぼす食塩の影響	川喜田 哲哉	53	3	196	1999
シンポジウム「陸海境界領域の環境と生態系」について	佐藤 利夫	53	5	395	1999
海水揚水発電技術実証試験について	小野寺 一元	53	5	396	1999
貝殻から学ぶ生体模倣材料	橋本 和明	54	1	54	2000
MSF型海水淡水化プラントの大型化について	岸正 弘	54	1	55	2000
研究会活動に見る材料・構造物の問題点	津田 健	56	2	180	2002
〔雑学〕ろ過(脱水)のお話	赤木 俊夫	56	2	181	2002
第11回国際冬期道路会議札幌大会に出席して	橋本 壽夫	56	2	182	2002
水の時代	谷岡 明彦	56	3	265	2002
イオン交換膜のイオン選択透過性	田中 良修	56	3	266	2002
金属材料の標識としてのUNSについて	梶野 秀夫	56	5	411	2002
電気防食が効くわけ効かぬわけ	山田 和男	56	5	412	2002
製塩と装置材質の話	藤田 武志	56	6	471	2002
理想的な製塩装置材料とは？	長谷川 正巳	56	6	472	2002
夢の付着生物防止剤	杉原 拓郎	57	1	46	2003
製塩用蒸発缶におけるクラッド鋼合せ材の厚みについて	小林 英夫	57	1	47	2003

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
スーパーステンレス鋼の誕生と現状	根本 力男	57	1	48	2003
我が国における港湾鋼構造物の建設の経緯	阿部 正美	57	1	48	2003
ガルバニック腐食と電池	江原 亮	57	2	138	2003
Ni基耐食合金と海水	菅原 克生	57	2	139	2003
海水取水設備の流出油対策	山上 正明	57	2	140	2003
汚染防止対策と“防汚塗料”について	村松 利光	57	2	141	2003
逆浸透海水淡水化装置排出かん水を用いた電気透析製塩	田中 良修	57	3	229	2003
耐すきま腐食性盛金合金	宮坂 松甫	57	3	230	2003
海洋構造物と生物生産	杉原 拓郎	57	4	324	2003
マイクロアロイングとバルクのホウ素（ボロン，B）の役割	根本 力男	57	4	325	2003
最近の日本塩業界の動向	藤田 武志	57	5	397	2003
最適な材料とは？	赤木 俊夫	57	5	398	2003
海底面近傍に発生するサンドエロージョンについて	阿部 正美	57	5	399	2003
シリル系加水分解型防汚塗料の現状	舩岡 茂	57	5	400	2003
エロージョンとの遭遇	江原 亮	57	6	524	2003
シリコーン系防汚塗料の開発動向	堀 誠	57	6	525	2003
大型付着生物の付着できない材質と表面	川辺 允志	58	1	116	2004
<b>16. 塩シリーズ</b>					
調味料・塩	橋本 壽夫	58	2	192	2004
市販食塩の品質（Ⅱ）	新野 靖, 西村 ひとみ, 古賀 明洋, 中山 由佳, 芳賀 麻衣子	58	3	289	2004
塩の種類と特徴 -表示は本当か	尾方 昇	58	4	430	2004
地下岩塩中の微生物	亀倉 正博	58	5	494	2004
塩の粒体特性の測定方法 -その1	尾方 昇	59	2	158	2005
塩の粒体特性の測定方法 -その2	尾方 昇	59	3	205	2005
塩の粒体特性の測定方法 -その3	尾方 昇	59	5	361	2005
市販にがりの品質	芳賀 麻衣子, 新野 靖, 西村 ひとみ, 関 洋子	60	3	203	2006

日本海水学会誌 第51巻～第60巻 総目次  
平成9(1997)年～平成18(2006)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
<b>17. ミニレビュー</b>					
バイオセンサー(I) -バイオセンサーの原理と特徴-	内山俊一	51	1	61	1997
バイオセンサー(II) -バイオセンサーの応用-	内山俊一	51	2	101	1997
オプトード	久本秀明, 鈴木孝治	51	4	255	1997
ガスセンサ(I)	青野宏通, 定岡芳彦	51	6	395	1997
ガスセンサ(II)	青野宏通, 定岡	52	1	41	1998
イオンセンサー(I) -ニュートラルキャリア型イオンセンサーの基礎-	木村恵一	54	2	146	2000
イオンセンサー(II) -ニュートラルキャリア型イオンセンサーの実際-	木村恵一	54	3	253	2000